

# ヨウ素製造のパイオニア

登録番号	第003号
名称(型式等)	株式会社合同資源 千葉事業所
所在地	千葉県長生郡長生村七井土1365
設立年	1934年(昭和9年)

## 選定理由

ヨウ素は動物にとって必須のもので、私たちの体の中にも存在し、健康な体の維持に無くてはならないものである。株式会社合同資源の前身である相生工業株式会社は、1934(昭和9)年に千葉県一帯の地下に天然ガスと共有する地下かん水中に、多量のヨウ素が含まれていることに着目し、千葉県大多喜町に上瀑工場を建設し、日本で初めて、かん水からのヨウ素製造を開始した。1965(昭和40)年には相生工業株式会社と、金属鉱業を主たる事業として1948(昭和23)年に創立された磯部鉱業株式会社が合併し、株式会社合同資源が発足した。

事業内容としてはヨウ素、ヨウ素化合物の製造および販売、天然ガスの開発および販売を行っている。単一工場としてかん水を原料にした日本最大の製造能力を誇り、大量・安定的に供給している。年間にヨウ素を2,400t、ヨウ素化合物を1,800t生産し、ヨウ素生産量は日本の約25%、世界の約7%を占めている。



写真1：ヨウ素(球状)

## ヨウ素はどこにあるの

かん水(天然ガスが溶けている水)には多量のヨウ素が含まれている。国内最大規模の水溶性天然ガス鉱床である南関東ガス田を抱える千葉県では、国内の約80%のヨウ素を生産している。日本は世界第2位のヨウ素生産国であり、世界のヨウ素生産量の約30%(約9,400t)を占めている。(1位はチリで約65%を占める)



写真2：ヨウ素製品

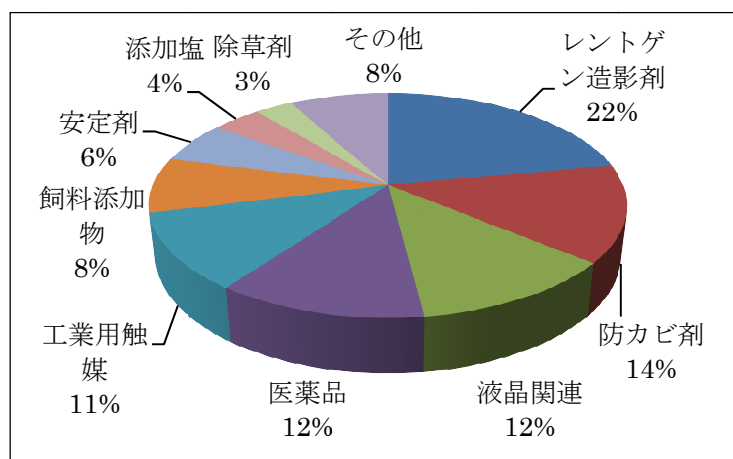


図1：ヨウ素の主な用途



写真3：(株)合同資源千葉事業所

- 参考資料 1) 株式会社合同資源ホームページ  
2) 「千葉県工業歴史資料調査報告書第4号」千葉県立現代産業科学館(1996)